



1.キッチンカーで購入した食べ物を、歩行者天国で楽しむ人たち / 2.須田市長とまちの駅や都市計画道路の関係者がくす玉を割り、春まつりの開催を祝った / 3.意外と難しい輪投げゲーム。思ったところに飛ばない〜！ / 4.伊達高校吹奏楽部の演奏はアンコールが起るほど大盛況！サンバのリズムでオレッ！

## 「みんなの道路、活気をここから」

4月23日㊤、都市計画道路中央線大町工区竣工を祝い、開所から5周年を迎える「まちの駅やながわ」を中心に春まつりが開催されました。オープニングセレモニーでは、須田市長が「梁川の歴史観光の玄関口として、また、気軽に立ち寄れる交流の場として、多くの皆さまに愛される施設になってほしい」とあいさつ。気持ちのいい晴れ空が広がったこの日。キッチンカーが大集合した歩行者天国と、多種多様の演奏者によるステージイベントで春まつりは大盛り上がりでした。



市長コラム 第54回

「まちの駅やながわ春まつり」

須田博行

去る4月23日、「まちの駅やながわ」開業5周年記念イベントが開催されました。伊達市の歴史・文化・観光の発信拠点として、さらには市民の交流・憩いの場として多くの皆さんにご利用いただいています。そして令和元年東日本台風では、支援物資の配布や炊き出しなど、被災者支援ステーションとして大きな役割を果たしました。施設を管理運営いただいている伊達氏のふるさと梁川会、ならびに関係者の皆さまに感謝申し上げます。

またこの日は、梁川町中心部を通る都市計画道路中央線「大町工区」の完成もお祝いしました。無電柱化された開放感ある広い歩道と、梁川町川北まちづくりの会が進めてきた「蔵の風情を取り入れた和風のまちなみづくり」の取り組みにより、歴史と文化が薫る景観が再現され

ました。ちなみに、川北地区の取り組みは、明るく活力に溢れるまちづくりのモデルケースとして注目を集めています。さて、この日のまちの駅は、バンド演奏や混声合唱、オカリナや吹奏楽演奏など、楽しく懐かしい音楽ひろばでした。また、完成した道路「中央線」は歩行者天国となり、輪投げ大会やキッチンカー販売、道路に並べられた椅子・テーブルでの飲食など、普段は味わえないにぎわいひろばとなりました。これも、梁川バイパスの完成により可能となったことです。道路とは、人や車の通行のためばかりではなく、地域のにぎわいづくりに大きく貢献するのだと改めて強く思いました。これからも、国や県、関係機関と連携し、道路整備を積極的に推進していきます。

ました。ちなみに、川北地区の取り組みは、明るく活力に溢れるまちづくりのモデルケースとして注目を集めています。さて、この日のまちの駅は、バンド演奏や混声合唱、オカリナや吹奏楽演奏など、楽しく懐かしい音楽ひろばでした。また、完成した道路「中央線」は歩行者天国となり、輪投げ大会やキッチンカー販売、道路に並べられた椅子・テーブルでの飲食など、普段は味わえないにぎわいひろばとなりました。これも、梁川バイパスの完成により可能となったことです。道路とは、人や車の通行のためばかりではなく、地域のにぎわいづくりに大きく貢献するのだと改めて強く思いました。これからも、国や県、関係機関と連携し、道路整備を積極的に推進していきます。